

第15回 CPD 協議会 ECE プログラム委員会幹事会
議事録

1. 平成 25 年 1 月 18 (金) 9:00-12:00

2. 日本工学会会議室

3. 出席者：

川島一彦、小松生明、高草木明、持田侑宏、長井寿、但田潔、清田勇毅

4. 配付資料

資料 15.1 第 14 回 ECE プログラム委員会幹事会議事録 (案)

資料 15.2 ECE プログラムの開発と運用－国際競争力向上に向けて－ (仮題) (第 1 次案)

5. 議事

1) 前回議事録 (案) 確認

資料 15.1 を用いて説明された後、議事録として承認された。

2) ECE プログラムの開発と運用－国際競争力向上に向けて－ (仮題)

資料 15.2 に関して、以下の意見が出された。

(1) 目次構成

① 前回の委員会で提案された目次構成において、「3. ECE プログラムの要件」を「1. ECE プログラムの目的」とまとめ、以下のようにする。

1. ECE プログラムの目的と要件：ECE プログラムとは何を指し、何が特徴で、どのような要件があるかをコンパクトにまとめる。
2. ECE プログラムが求められる背景：本来、1 章の前にこの章が入るべきであるが、短い報告書であり、ECE プログラムとは何であるかが直ぐわかるように、この章を 1 章の後ろに持ってくる。
3. ECE プログラムの開発と運用：ECE プログラムを立ち上げる際のガイドラインとしての性格を持たせる。
4. ECE プログラムの例：ECE プログラムを立ち上げようとする学会に対して、どのようなものが ECE プログラムであるかを示す役割を持たせる。

② 現在、1 章においては、ECE プログラムの目的として、以下の 4 項目が示されている。

1. プロフェッショナルとしての専門能力の向上
2. 多様性を受け入れ、異分野技術を取り入れていける能力の向上
3. 国際競争力の強化
4. 社会人基礎力の向上

また、ECE プログラムの要件として、以下の 5 項目が示されている。

1. 複数の学協会が連携することが有効なプログラムであること
2. CPD 取得者やその雇用者のニーズに基づいて ECE プログラムを提供すること
3. プロフェッショナルとしての専門技術力を身につけられるコース制プログラムであること
4. 世界の最先端技術を取り入れたプログラムであること
5. 社会人基礎力の向上を取り入れたプログラムであること

これらについては、2 章における展開に応じて、適宜、追加項目を加えるものとする。

③ 2 章については、但田委員の案を基本とし、これに持田委員、盛山委員の意見を取り入れる形で、第 2 次原稿をとりまとめる。なお、2 章の記述は ECE プログラムの必要性を示す最も基本となる章であり、できる限り記述を充実し、これに応じて、1 章も変更するものとする。

④ 4 章（今後は 3 章となる）の「4.4 ECE プログラム設計にあたっての様々な視点、問題意識」の中に、現在まで数回にわたって幹事会で議論されてきた内容が含まれている。これは 2 章における ECE プログラムの必要性に対する説明であるとも見ることもできるが、4 章では、ECE プログラムを開発、実施しようとする学協会、担当者に向けた、参考となる事項、チェックリストとして記述するという位置づけとする。

⑤ 4 章（今後は 3 章となる）の「4.5 ECE プログラムの進め方例」の中に、経営ゼミナール（化学工学会）が示されている。これは 5 章（今後は、4 章）の内容とも受け取ることができるが、経営ゼミナールは ECE プログラムとして実施されているものではないことから、4 章に置き、人的ネットワーク作りに有効な優れたプログラム例として示す。

⑥ 5 章（今後は 4 章）では、今後、ECE プログラムを開発、実施する学協会にとって、具体的にどのようなすれば良いかを示すことが目的であるという視点で、ECE プログラムの例を記述する。

（2）その他の事項

① 平成 21 年 3 月版があったことは、まえがきやその他の箇所で記述するが、読み手から見ると、平成 21 年 3 月版を見なくても、今回の報告書を見れば ECE プログラムとは何かがわかる記述とする。平成 21 年 3 月版の記述にこだわらず、内容を刷新して良い。

② 年は、2013 年度(平成 25 年度)と表記する。

③ 章のナンバリングは、平成 21 年 3 月版に従う。最終的にフォントのタイプ、サイズ等は調整するが、原稿段階ではナンバリングだけに注意する。

1.

1. 1

1)

a)

できるだけ、これ以下の見出しは付けない。

④ 改訂版の作成スケジュール

平成 25 年 2 月 1 日(金)に第 2 次原稿を作成する。その後、2, 3 回の全体調整を経て、平成 25 年 3 月末に改訂作業を終了させる。改訂版は印刷するとともに、ウェブに掲載する。

6. その他

次回は平成 25 年月 1 日(金) 16:00-19:00とする。